

穂苅三寿雄・貞雄写真展「播隆が見た山々」

会 期 2008年6月28日（土）～8月31日（日）〈55日間〉
会 場 美術工芸展示室
展示作品 46点 展示資料 3点
観 覧 料 無 料



内 容

江戸時代の念仏行者・播隆（1786～1840）は、越中国（現在の富山県）で生まれ、深山幽谷で修行するかわら、文政年間に槍ヶ岳（3,180メートル）に仏像を安置し参道を開きました。その途中、美濃加茂地域にも何度も立ち寄り人々と交流を深めました。数多く残る「南無阿弥陀仏」と記された石造の名号碑などがそのことを物語っています。天保11年（1840）、滞在していた中山道太田宿脇本陣でなくなりました。

播隆が槍ヶ岳開山にあたって見た山々。その光景は長い時がたった現在も、私たちに自然の厳しさと美しさを伝えています。親子で山岳写真家として知られる穂苅三寿雄（1891～1966）、貞雄（1921～）両氏は山小屋を経営する傍ら、迫力ある写真を撮り続け、一方で播隆の研究者としても大きな業績を上げています。三寿雄氏の撮影した大正末から昭和初期にかけての槍ヶ岳を中心とした貴重な山岳写真ならびに今なお精力的に山々の表情を撮り続けている貞雄氏の作品を紹介しました。

関連行事

■ミュージアムトーク「北アルプスの山々にふれて」

7月6日（日） 14:00～15:30 美術工芸展示室 参加無料 参加者：80人
講師 山岳写真家・穂苅貞雄氏

■播隆ゆかりの地めぐり

7月27日（日） 9:30～11:30 旧中山道太田宿 参加無料 参加者：26人
講師 展示ガイドボランティア

作品・資料目録

番号	作品名／資料名	撮影場所	作者など	所蔵
1	暮れゆく笠ヶ岳		穂苅三寿雄	個人蔵
2	小槍登攀		穂苅三寿雄	個人蔵
3	夏の槍ヶ岳と天狗池	氷河公園	穂苅三寿雄	個人蔵
4	夏の大槍・小槍	北鎌平	穂苅三寿雄	個人蔵
5	雲海に浮かぶ笠ヶ岳後方に加賀の白山が見える	槍ヶ岳肩	穂苅三寿雄	個人蔵
6	岩登り		穂苅三寿雄	個人蔵
7	初夏の槍ヶ岳大喰岳、中岳、南岳、大キレットとつづく	蝶ヶ岳	穂苅三寿雄	個人蔵
8	早春の槍ヶ岳		穂苅三寿雄	個人蔵
9	春の大喰岳から穂高連峰を望む		穂苅三寿雄	個人蔵
10	早春の槍ヶ岳	燕岳	穂苅三寿雄	個人蔵
11	雲海の裏銀座の山々右端に白馬連峰が見える	槍ヶ岳肩	穂苅三寿雄	個人蔵

12	夏の槍ヶ岳手前にアルプス銀座縦走路	燕岳	穂苅三寿雄	個人蔵
13	河童橋と穂高連峰		穂苅三寿雄	個人蔵
14	霧氷・上高地と穂高連峰		穂苅三寿雄	個人蔵
15	新緑の穂高連峰	梓川畔	穂苅三寿雄	個人蔵
16	夏雲の流れと穂高連峰	河童橋	穂苅三寿雄	個人蔵
17	徳本峠下りからの穂高		穂苅三寿雄	個人蔵
18	初夏の大正池と穂高連峰		穂苅三寿雄	個人蔵
19	冬の大正池と穂高連峰		穂苅三寿雄	個人蔵
20	コナシの花と穂高岳		穂苅三寿雄	個人蔵
21	焼岳大爆発	河童橋	穂苅三寿雄	個人蔵
22	大正池の枯れ木と焼岳		穂苅三寿雄	個人蔵
23	冬の焼岳		穂苅三寿雄	個人蔵
24	中尾峠からの笠ヶ岳		穂苅三寿雄	個人蔵
25	雲晴れる槍ヶ岳	槍ヶ岳肩	穂苅三寿雄	個人蔵
26	モンゲンロートの槍ヶ岳	燕岳	穂苅貞雄	館蔵
27	厳冬の槍ヶ岳		穂苅貞雄	館蔵
28	風雪の槍ヶ岳	燕岳	穂苅貞雄	個人蔵
29	笠ヶ岳の落日	槍ヶ岳肩	穂苅貞雄	館蔵
30	岩氷の槍ヶ岳		穂苅貞雄	個人蔵
31	春の雪	槍沢ロッジ付近	穂苅貞雄	館蔵
32	残照の槍ヶ岳	南岳	穂苅貞雄	館蔵
33	早春の槍ヶ岳	中岳	穂苅貞雄	館蔵
34	浅春の常念岳	槍ヶ岳肩	穂苅貞雄	館蔵
35	芽吹き	槍沢上部	穂苅貞雄	館蔵
36	お花畑と槍ヶ岳	槍沢	穂苅貞雄	個人蔵
37	雲上の槍ヶ岳	奥穂高岳	穂苅貞雄	館蔵
38	槍ヶ岳星夜	南岳	穂苅貞雄	個人蔵
39	夕照の常念岳カナトコ雲	槍ヶ岳肩	穂苅貞雄	個人蔵
40	梓川源流	槍沢	穂苅貞雄	個人蔵
41	秋の槍ヶ岳屏風のコル		穂苅貞雄	個人蔵
42	錦秋の槍沢		穂苅貞雄	個人蔵
43	ナナカマド紅葉と常念岳	西岳	穂苅貞雄	個人蔵
44	滝雲	槍ヶ岳肩	穂苅貞雄	個人蔵
45	秋一色天狗原入り口		穂苅貞雄	個人蔵
46	ブロッケン		穂苅貞雄	個人蔵
47	見仏上人作子供教訓いろは和讃播隆施印		見物上人	館蔵
48	信州鎗嶽畧縁起（覆刻／大修館書店）		播隆	館蔵
49	迦多賀嶽再興起（覆刻／大修館書店）		播隆	館蔵